

DEPARTMENT OF PRIME MOVER ENGINEERING AND MECHANICAL ENGINEERING



18号

# 東海大学機友会々報

萩 三二先生筆

東海大学機友会事務局

湘南校舎 動力機械工学科事務局  
〒259-12 神奈川県平塚市北金目1117  
TEL:0463-58-1211内4321 FAX:0463-59-8293  
発行人 河西正彦 編集 山口則雄  
印刷 信友印刷株式会社 TEL:03-3444-2481(代)

## 平成七年度卒研発表会・謝恩会開催される



第二工学部機械工学科卒研究発表会後の記念写真

平成八年二月(四日(水))に東海大学湘南校舎六号館にて平成七年度工学部動力機械工学科卒業研究発表会が開催されました。各研究室から学生の卒業研究委員が選出され、発表会の準備及び運営を学生が自主的に行ない卒業生はみな一人前の研究者らしく堂々と一年間の研究を発表していました。どの会場も活発な質疑応答がなされ、質的に大変すばらしい発表会でした。発表会終了後、卒業生全員による謝恩会が午後六時よりグラウンドホテル神奈中秦野にて盛大に開催されました。始めに謝恩会幹事長の永井潤君より卒業生を代表して謝辞が述べられ、続いて来賓を代表し林守仁主任教授の祝辞、機友会を代表して河西正彦会長の祝辞が述べられました。

康井義明副工学部長の首頭にによる「乾杯」に引き続き本年度で動力機械工学科を引退される齊藤宗三教授、中川三男教授に卒業生より花束が、そして機友会より記念品が贈呈されるなど、会は盛況のうちに終了しました。

また第二工学部機械工学科の卒業研究発表会は、翌日の二月十五日(木)に代々木校舎四号館で開催されました。機械工学科の卒業研究は時間的制約にも関わらず、社会に密着した内容の立派な発表でした。発表会終了後に撮影した記念の集合写真は、卒業式に機友会から全員に配布する予定です。なお、謝恩会は、卒業式当日、三月二五日(月)に湘南校舎十一号館で午後二時から開催されます。



工学部動力機械工学科謝恩会

### 機友会賞表彰者

機友会賞は、学業によく励み、またクラスの団結に寄与した学生あるいは特別な努力や学科のために非常に貢献した学生に授与される賞です。今年度は卒業式当日に次の学生に授与されます。おめでとうございます。

- |          |          |       |
|----------|----------|-------|
| 会長賞(四名)  | 20MD1232 | 松坂 勝敏 |
|          | 20MD2224 | 鍋島 久浩 |
|          | 20MD3214 | 小向 孝洋 |
|          | 20NM1217 | 竹花 憲一 |
| 機友会賞(十名) | 20MD1125 | 出村 憲治 |
|          | 20MD1211 | 龜谷 七緒 |
|          | 20MD2103 | 石田 裕一 |
|          | 20MD2127 | 丹羽 浩志 |
|          | 20MD2227 | 布野 和信 |
|          | 20MD3108 | 荻原 央貴 |
|          | 20MD3226 | 永井 潤  |
|          | 20NM1118 | 太幡 英実 |
|          | 20NM1123 | 野口 治夫 |
|          | 20NM1224 | 藤野 宏  |

平成七年度卒業生の中から次の方々が機友会の理事及び評議員に選出されました。よろしくお願ひします。

- 機友会理事(四名)
  - 出村憲治、丹羽浩志、荻原央貴、重田伸一
- 機友会評議員(四名)
  - 龜谷七緒、石田裕一、永井潤、太幡英実

(敬称略)



## 水と空気と環境の明日を考える...

### 荏原グループ

荏原製作所・荏原サービス・荏原プラント建設・マツボロ  
荏原環境エンジニアリング・荏原エンジニアリングサービス  
大岩機器工業所・荏原電産・荏原金剛・荏原シンワ・荏原商事 他

# 総会開催 —役員改選の年にあたって—

機友会会長 河西正彦



政治、経済などが混沌とする今日、会員におかれましては御無事にお過ごしでしょうか。御拝察致します。どうか困難の中におられる方は、必ず良き日がくるとの信念をもたれて頑張り続けて欲しい、また順調な方は油断無きよう一度周囲を見廻して下さいと申し上げたくなる心境であります。

こつした渦中であって、私達は本年卒業生三百人を新会員として迎えることになりました。新卒業生に対してその前途に光輝く人生が有りますようにと念する次第であります。

さて本年は、本会の総会開催年であります。三年に一度の開催で、会長以下各役員、監事の改選を行います。一月三日に湘南校舎に多くの会員が参集し過去の経緯と未来の展望をテーマに大いに意見を出し合っていただき総会を有意義に盛り上げていただきました

く願っております。

本会は、毎年の定形化された会報発行を中心に数々の事業を遂行しておりますが、残されているテーマを挙げてみます。

賛助会員募集：これは順調な滑り出しであります。土台を固めなければなりません。

地方支部の設立：これから具体案を検討し全国をどのように分けるか、誰にお任せするのかを決めその細則もつくりたいとします。

会員名簿の発行：予算五百万円の捻出が難しい。

学科研究と産学共同研究の推進：本会の目的となつてはいるが学科研究がまだまだ乏しい。また学科研究活動を会員に伝え産学研究で成果を上げていきたい。

このように達成すべきテーマが山積されておりますので本年総会の主要な議題となるでしょう。各役員におかれましてはこの三年間転動等の事情で出席できなくなつたりその他の事情で会の作業が無理になつた方が多数おられます。しかし役員諸氏の今までの努力は、会の発展の歴史の中に一口

# 賛助会員募集!

機友会事業部長 小杉伸一



東海大学機友会は、学科の支援を基に試行錯誤を繰り返しながらの活動を展開し、年二回の会報発行・名簿発行・懇親会開催・会社訪問・企業と学生との懇談会や就職相談などの活動が行えるようになり、本年一月で十五年満了を迎えようとしています。

これらの活動をより充実させる目的で賛助会員制度の導入が提案

マナー記録されております。

総会の役員改選で新しい方々にバトンタッチされ今後とも会運営の指南役として指導に当たって頂きたいと思ひます。長い間、ボランティア精神をもとに活動できたことは人生にプラスとするところ大であります。この稿をお借りして御礼申し上げます。

最後に会員諸氏のご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

され、かなりの議論を交わして導入が決まりました。必要情報収集などの諸準備を経て、具体的な募集活動を開始したのが半年前の昨年一〇月でした。

最初のアプローチは、企業経営者となつて二三百名程の機友会会員としました。アプローチの結果、一割に相当する方々から法人会員または個人会員としてのお申し込みを頂くに至りました。この活動は、今後も継続しますが会員皆様からの情報提供が不可欠な要因となりますのでご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

次のステップとして機友会会員が在籍する企業を対象と考えております。機友会活動の理解をえるところから始まるアプローチです。かなりの時間を要すると思われ。しかし、始めなければ結果が得られないテーマです。理事全員の理解を求めて早く始めたいと考えております。

賛助会員募集を始めるにあつて賛助会員事務局を開設し、小生が窓口を担当しております。左記連絡先への情報提供を宜しくお願い致します。

電話：〇四五 九四一 〇四四八  
FAX：〇四五 九四一 〇六六六  
Eメール：yabs-ksq@asahi-net.or.jp

素材から精密金型の一貫生産メーカー

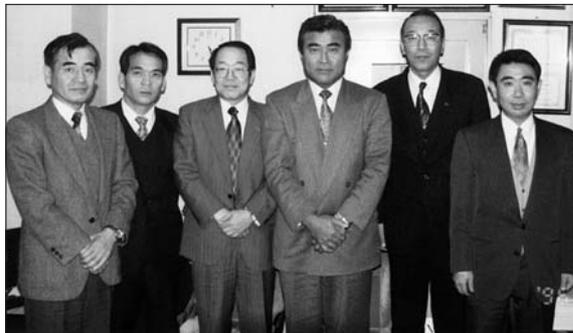
# タンガロイ精密株式会社

超硬素材、精密プレス金型、モールド金型、金型部品の製造及び販売

本社：〒584 大阪府富田林市寿町2-9-11 TEL0721(23)6910 FAX0721(24)6113 営業所：川崎・大阪・福岡

紹介員 助賛会

# 株式会社 東科精機



本社にて 松波社長(右から3人目)

平成八年二月一日

東京の東横線新丸子駅を降り商店街を抜けると、東科精機の本社並び技術棟がありました。

今回の会社訪問は河西会長、伊藤副会長、弓野先生、円能寺先生と大矢で伺いました。松波社長は笑顔で我々を迎え奥の社長室へご案内下さり、会社の内容と業務を懇切丁寧にお話くださいました。堂々とした体軀からにじみ出る自信と将来展望そしてその抱負は、中小企業にありがちな地味なものではなく、社員に対する責任と社会貢献をバランスよく保ち、大企業に伍しても決してひけをとらない製

品の数々、また中小企業の利点を有効に生かされているとの印象をうけました。

明日の環境を考え、安全を託す確かな備えをモットーに汎用ガス警報器を始め光干渉式ガス測定器・検定器・可燃性ガス警報器・酸素警報器・毒性ガス警報器、又東科三〇〇シリーズは、可燃性ガス用・酸素用・毒性ガス用と三種の多点多式定置型警報器です。

高感度ガス警報器は、半導体式センサの特徴である「高感度」「長寿命」に加え「安定性」「二段警報機能」を持った警報器です。指示計はアンモニア用、フロノン

用、有機溶剤の三種類、ガス漏洩検知用です。その他出力信号付・有毒ガス検知器、センサー、ステック、携帯用毒性ガス測定器、携帯形酸素測定器、携帯用ガス濃度計・リトルガス検定器等数多くの製品を開発製造されております。

社長の松波登社長は昭和四五年東海大学工学部機械工学科を卒業され、尊父松波正太郎氏が創設された東科精機を引き継がれ、アイデアの数々を製品に反映され今日の隆盛をもたらされました。

現在は韓国・台湾・タイ等海外のガス関連会社と代理店契約を結び、又家庭用ガス警報器は神奈川県発明考案展で川崎市長賞を受け

その他全日本中小企業輸出振興協議会より優秀賞を度々頂いておられます。

営業品目は二十数種におよぶ公的機関による検定・認証の取得は、ガス警報器等数十種目にわたり船舶にも応用されております。松波社長は特許九件実用新案十六件とアイデアマンとして活躍されておられます。

本業以外にも将来を目指していくつかの開発を進めております。例えば、松波社長の義父とのアイデアから生まれた、消防自動車誘導支援システムです。開発費を産省へ申請、NECと協力開発して完成し、四月にNHKのニュースで放送される予定です。このシステムは高層ビル等の火災ではしご車が出動し停車予定位置で、高



本社事務室

層火災現場迄の距離と角度を瞬時に測定演算し、停車位置の確定をするものです。二年後にはすべての消防はしご車に採用されるように頑張っています。

トヨタグランビアを昨年購入、アメリカの衝突安全基準による、鼻の出たワンボックススタイルの為、運転席直前の死角が大きいので危険を感じ、ルーフに取り付けるエアロフロントアンダーミラーを考案し、大手ミラーメーカーと協力開発を進めています。

多くの考案が車に関係しているのは、大学在学中にバリタカールラリーで有名な三菱自動車の篠塚健次郎(東海大卒)と同期で、同じクラブでラリーやレースに出場する程、車が好きなのが影響していると思います。

工場の生産ラインは各工程の品質が実に厳重で特殊な部品、例えば白金極細線コイルはセンサーの心臓にあたるので特化されたメカトロニクス設備を導入し信頼性を高めました。

研究開発部門も新しいテーマに取組んでおり製品に対する限りない信頼を寄せることができ、松波社長の物づくりの精神を随所で感じました。

工場見学後近くの上品なバブで夕食をご馳走になり、席上松波社長の学生時代から現在に至るまでの貴重な体験談に一同爆笑したりして懇親を深め、三時間余りの会社訪問をおわかりました。

記 機友会広報部長 大矢 暁

あすの環境を考える

TOICA

# 株式会社 東科精機

営業品目：連続測定型光波干渉屈折計式ガス測定器・ガス検知器・ガスカロリーメーター・ガス濃度計・ガス警報器他

〒211 神奈川県川崎市中原区新丸子町756番地(本社) 川崎市中原区新丸子町761番地(技術開発室) TEL:044-722-2000(代) FAX:044-722-7460 代表取締役 松波 登(1970年度機械科卒)

# 東海大学同窓会 事務局からのお知らせ

## 恒例の箱根駅伝 五カ所所で応援を

すっかり恒例になった正月の箱根駅伝。このところ中堅校として安定した成績を収めている東海大学の駅伝チームの活躍を期待する意味で、同窓会として応援の企画をたて、多くの同窓会員に呼びかけました。

応援の企画は、東海大学同窓会の東京ブロックと神奈川ブロックを中心とした、東海大学東京校友会と神奈川校友会により組織された「箱根駅伝応援実行委員会」が行いました。

応援の場所は、東京地区(日比谷交番付近)、川崎地区(川崎警察署前)、横浜地区(東神奈川駅前)、藤沢地区(藤沢警察署前)、大磯地区(大磯プリンスホテル入り口付近)の、箱根駅伝のコース



### の計五カ所

各地区の応援場所では、東海大学の職をたてるともに、集まった学園関係者には、選手の応援にと東海大学のシンボルマーク・Tウェーブがプリントされた小旗を配りました。

当日はTウェーブの小旗は全部で一万本準備しましたが、その全部がなくなるなど、好評でした。同窓会としてはこの箱根駅伝応援を今後、毎年行う予定です。今年もテレビで観戦していた皆さん、来年は是非、沿道から声援をお願いします。

東京・箱根間の約二百十キロを往復する箱根駅伝に、東海大学は第七十二回大会の今年の出場で、二十四年連続二十四回目の出場となった。

東海大学は往路二位、復路四位、総合五位がそれまでの最高成績。今年は一、二日の、東京・大手町から神奈川県箱根までの一、五区

の往路が三位、翌三日の往路と逆のコースを走る復路が七位、往路復路の合計の総合は四位になった。

それまでの総合での最高記録の五位は五十九回、七十回大会に記録しているが、総合の四位は過去最高を記録しました。

## 新会員の集い 六月十五日に

毎年恒例となった東海大学同窓会「新会員の集い」が、今年も六月十五日(土)午後六時から、東京・電が関(電が関ビル三十三階)の東海大学校友会館で開催されます。

この「新会員の集い」は、その年の三月に東海大学を卒業した新しい同窓会員に、同窓会活動の理解を深めてもらうとともに、卒業生同士の連帯感をより一層深めていくという目的で開催されているもので、一九八九年から毎年開催されており、今年で八回目になります。

「新会員の集い」は立食パーティー形式で行われ、さまざまなアトラクションも行われます。

昨年は六月二四日に行われ、旧友、恩師との再会を喜ぶ新同窓会員の姿が見られ、また「数合わせゲーム」「YES NOゲーム」「抽選会」等、豪華商品が当たるアトラクションも和気あいあいのうちに終わりました。

同窓会活動への理解と協力を、事務局では多くの新同窓会員の参加を呼びかけています。なお、参加費は無料ですので希望者はお気軽に参加ください。

## 「東海カード」をぜひ、お手元に

クレジットカードの機能を加えた東海大学同窓会の会員証「東海カード」をぜひ手に。

「東海カード」は通常のクレジットカードとしては勿論、「東海カード」独自の特典・優待制度も利用できるものになっています。また、家族会員のカードの発行も可

能になっています。

また、会員がカードを利用することで、同窓会に手数料収入が入るシステムになっており、同窓会運営の大きな助けになっています。

「東海カード」加入ご希望の方は同窓会事務局までご連絡下さい。折り返し入会申込所をお送りします。

## 「一九九五年度版 会員名簿」が完成

兼ねてから編集が続けられてきた「一九九五年度版同窓会名簿」が昨年一月に発行になりました。発行された会員名簿は五十頁順A4版、総ページは二千三百四十七ページ、定価は一部一万三千元です。

数に限りがありますので、購入希望の方は早めに同窓会事務局までご連絡下さい。

東海大学同窓会事務局

〒一五一 東京都渋谷区宮ヶ谷

電話 〇三三四六七 二二二一

FAX 〇三三四八五 四九四〇

## 「日経新聞紙上で 情報交流」開始

昨年一月から全学園の卒業生と母校を結ぶ情報交流にと、日本経済新聞紙上に「卒業生への伝言板」をスタートさせました。

これは同新聞の第三水曜朝刊「産業面」に空を出し広告のかたちで、卒業生への情報を掲載するものです。さらに詳細についてはFAXを利用して知ることもできます。同窓会員の情報交流の場として大いに活用して下さい。問い合わせは事務局まで。

内外国の特許・実用新案・意匠・商標・サービスマーク・鑑定 等

発明・ノウハウの相談受付

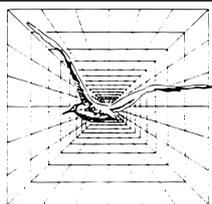
特許権(出願中)も担保として融資実施化

## 岩堀特許事務所

弁理士 岩堀邦男(68年機械卒、91年通信卒)

〒107 東京都港区赤坂4-3-1 共同ビル赤坂513号  
地下鉄赤坂見附駅・赤坂下車3分

電話東京03-3587-1625



教育機器 } のコンサルタント  
医療機器 }  
医薬品 }



東海教育産業株式会社

本社 神奈川県伊勢原市下粕屋164番地  
〒259-11 TEL 0463-92-1881(代) FAX 0463-94-7402  
営業所 東京・湘南・伊勢原・清水・沼津・大阪・九州・北海道  
泰野市南矢名一丁目5番13号 TEL 0463-78-5671  
代表取締役 谷越安男

OB企業訪問  
**沖電気株式会社**  
**情報通信システム事業本部 高崎地区**



質疑応答 宇敷理事(左端)

今回の訪問はグローバルスローガン「People to People Technology」を全世界で展開し、豊かな暮らしと社会づくりをめざしてユザイの皆様と一緒に考え行動する企業として歩み続ける沖電気工業株式会社です。機友会理事として活躍されておられる宇敷理事の勤務先である同社高崎地区を河西会長、飯島教授、内山理事、大矢理事そして私(山口)の五名で伺いましたのでここに紹介させて頂きます。

皆様も御存知の如く同社は一八八一年(明治一四年)に沖牙太郎氏が日本最初の電気通信機器メーカーとして創業されて以来、百十五年にわたり常に技術開発で現状を打破し情報通信技術で人と社会の未来に貢献する企業を目指しております。事業概要としてはATM交換機や光伝送システムの通信ネットワーク事業本部、金融機関向けオンライン端末や現金自動取引装置の情報通信システム事業本部、IC、LCIそして光電子デバイス等の電子デバイス事業本部の三部門から構成されます。

今回見学させて頂いた高崎地区は情報通信システム事業本部の要であり、製品開発と設計の技術部門、生産管理を主とするマザー工場部門そしてシステム品証センターがあります。まず同所のショールームで製品紹介があり、「かわら版」から始まり、パソコンそしてLANを活用したマルチメディア通信システム、パンキングシステム、現金自動取引装置、発券端末システム、手書きOCR装置そしてリライトカードシステム等を予定時間を越えるのも忘れる程に丁寧な説明を受けました。その後には東海大学OBも新たに加わった質疑応答が始まり、その時に沼津地区には沖電気臨海実験所があり、計測パージが計測船を用いて水中音響測定などを行い海洋開発、研究に活躍しているとのこと、潜水調査船「しんかい650」と支援母船「よこすか」に自慢の音響航法



「かもめ会」との交流会

システムが搭載されており国際的にも高レベルとの説明がありました。このような電子応用システムとしては「消防緊急情報システム」、「航空管制システム統制装置」、「海上交通システム」、「総合ビル管理システム」、そして自動車の「ナビゲーションシステム」などがあり最新技術の成果である優れた計測制御システム機器の提供を通じて暮らしと自然の安心を見つめています。私共には我々の生活をサポートしている前述のシステムの恩恵を受けているにも関わらず同社の製品とは思いませんでした。残念ながらOKIの文字を読む事も想像する事もなかったので大変な感銘を受けるのも共にもっともって宣伝しても良いのではとの思いを受けました。そして宇敷理事が開発担当されたカードサイズPCの実物提示と説明があり、頭の中では

マイクロン単位の接続を行う高密度実装技術は理解できても実際に手に取って目の前で見ると感動的でした。それに加えて一個や二個の試作品でなく信頼性、製造性も考慮された量産製品である点を考えれば私の様な機械屋にとっては未知の世界での出来事であり「敬意を表します。」の一言に尽きます。この件に関しては雑誌「電子材料」一九九五年一月号に話題商品にみる実装技術の連載第十九回「カードサイズPC」として、宇敷理事が執筆された特集記事が掲載されており御参照願います。

続いて沖電気工業株式会社には東海大学のOB会として「かもめ会」があり、百五十四名の先輩後輩の皆様が活躍されている由の説明があり機友会としても頼もしい限りです。業務内容からして大部分は電気系出身ですが、高崎地区は二十七名にて構成され、その内機械系は八名、動力機械工学科出身は宇敷理事、西澤氏の二名との紹介がありました。最後に駅近くの中華料理店で開催されている「かもめ会」の親睦会に特別参加させて頂きました。料理を堪能し、酒に酔つ程に自己紹介と研究室紹介が始まり多に意見交換が出来ました。

今回の会社訪問は前例のない賑やかな実りのある内容となりました。最後に、今回、お世話になりました宇敷理事及び沖電気工業株式会社の関係者の方には本当にお礼申し上げます。

記 機友会理事 山口 則雄

**OKI**

People to People Technology

情報通信技術で人と社会の未来に貢献します。

**沖電気工業株式会社**

**情報通信システム事業本部(高崎地区)**

〒370 群馬県高崎市双葉町3-1

TEL : 0273-25-1111 / FAX : 0273-24-2185

事業内容：情報処理機器、電子計算機システム、OA関連システム装置、インテリジェントターミナル、POSターミナル、OCRシステム、AIシステム他。

# 第九回懇親会開催

## 松前達郎総長をお迎えして



祝辞をのべる松前達郎総長

続いて、松前総長より東海大学のビジョンと、学科及び機友会の活躍におほめのご祝辞を頂戴いたしました。

学科を代表されて、本年度四月に主任教授に新任の林守仁先生より、「学科の現状及び展望、そして機友会との関係等」のご挨拶をいただきました。更に同窓会長桜井次郎様より同窓会の役割と学科同窓会との関係についてご挨拶をいただきました。

そのあと副会長の伊藤和義(昭和四〇年度卒)の音頭にて、「乾杯」をして和やかな歓談へと進行いたしました。

今回は進行役司会に山口理事(昭和四十七年度卒)余興のビンゴゲーム進行役に河合理事(昭和五〇年度卒)、「一家」をお願いする等、機友会新人理事を中心に運営をいたしました。

松前総長をはじめご来賓・教職員の方には、建学祭開催中のご多忙にもかかわらず、ご出席を賜りました事を紙面を借りてお礼申し上げます。

また、昨年に引き続き今年も機友会にて、「バザー」を開きました。お蔭様で今回は品物を完売することが出来ました。品物を提出して頂きました方々にはご協力を感謝する次第です。

なお機友会懇親会は、毎年一月三日(文化の日)湘南校舎「松前会館」にて、卒業生と学科との家族ぐるみのお付合いを主旨とした会で、小さなお子様を含めた、とても和やかな催しです。毎年同じ日時、同じ場所にて開催しておりますので皆様も奮ってご参加下さい。お待ちしております。

**総会と懇親会のお知らせ**

第六回「機友会」総会開催のお知らせ

機友会活動も十五年目を迎え、会員数も八千余名に達しました。毎年事業計画は大きく膨らみますが、予算が限られ充分な活動が出来ません。本年度は新たに、学科研究費補助金制度・地方支部制度・賛助会員制度の発足等、会員の皆さまのご理解とご協力をより一層賜りたく、左記のとおり総会を開催する予定です。是非、積極的な参加をお願いすると共に、ご案内申し上げます。

日時 平成八年二月三日 (文化の日)

午後一時より評議委員会  
午後二時より総会

場所 東海大学湘南校舎十二号館 製図室

議題 一、予算・決算報告  
二、監査報告  
三、役員人事  
四、事業報告  
五、その他



第十回 機友会懇親会開催のお知らせ

例年の通り、会員相互の親睦と学科教職員の皆様との懇親会を総会の後に開催いたします。

日時 平成八年二月三日 (文化の日)

午後二時より

場所 湘南校舎「松前会館」  
電話 〇四六三 五八 二二二  
会費 一族五千円

お子様に人気のビンゴゲーム等楽しい催し盛り沢山の親睦会です。ご家族ずれでの参加をお待ちしております。

記 機友会組織部長 内山 皓

総合設備・防災・セキュリティシステム

# 東亜電設株式会社

〒252 神奈川県藤沢市高倉1020-12 TEL (0466) 45-5611(代)

# 在校生の声

## 四年間の感慨

工学部動力機械工学科四年  
謝恩会幹事長 永井 潤



大学生活における四年間というものは非常に短く感じられるもので、入学当初の渾乱した状況がこのあいだのよう

に感じられる。四年間で身に付いたこと、心境の変化について述べることは、およそ意味のないことなどで行わない。なぜならそれそれの価値観が存在し、個人の主観に基づいた分析は一般化されないと考えるからであり、語られたことと興味の感を憶えるだけである。

四年間の短い大学生活の中で大切なことは悔いを残さないことである。卒業が間近になると、概ね四年間の回想と共に自己分析を行うことが多くなり、今までは一方、今しかできないこと、今しかなくてはならないこと存在し、その驚くほどの量に初めて気づくことも多い。後悔の無い様にしたいものである。大学というものは実に有用であり、学問以外にも、様々な使えるものなので、学費の元を取るほどに利用すべきである。立つものは親でも使え、落ちるものは何でも拾え、である。

## 大学生活を振り返って

工学部動力機械工学科四年  
謝恩会副幹事長 丹羽浩志



私が東海大学工学部動力機械工学科に入学してから早いものでもう卒業目前である。そもそも受験前に東海大学を志望したのは、広いキャンパスで静かな環境に憧れたからである。しかし入学し講義と講義の間の教室移動のときは広すぎるキャンパスも考えものだと思っ

## 大学生活四年間を振り返って

第二工学部機械工学科四年  
板橋信民



大学生活四年間は、政界再編、神戸大震災、オウム事件、そして戦後最大といわれる平成大不況と日本は激動の時代だった。その激動の時代に大学生活を送ったことは大変ありがたかった。大学の授業における知識もさることながら、第二工学部という特色上社会勉強も身につくからであった。社会の動きに対していつも敏感であり、様々な情報に対して社会的判断・分析ができる場であった。僕の好きな言葉の一つに「チャレンジ」がある。東海大学第二工学部機械工学科に入学したのは、一九九一年また寒さの残る初春であった。それから三年生の秋まであつという間であり、自分が何をすべきか見失っていた。そして三年生の秋、同期の仲間から卒業研究に軽量滑空機(鳥人間コンテスト)についてやってみたいかの誘いがあり、軽い気持ちで初めた。しかし、軽量滑空機にはまだまだ未知の部分が多く、研究を進めて行くうちに思い出した言葉があった。それこそ「チャレンジ」であった。そしてふと社会に対して目を向けると、激動の時代を送っている。一番感じたのは、これだけの施設、先生・職員の方々がいるのに世話にならずにいるには宝の持ち腐れで

あるということである。このチャンスを使い、最後の一年間であったが、大学生活四年間以上の何かを得たと感じた。この場をお借りしまして、お世話になりました皆さんに心より感謝致します。

## 光陰矢のごとし

工学部動力機械工学科三年  
倉永千恵子



先日、恩師に手紙を書いた。「先生、私ももう二十一年になりましたよ。」よく考えてみると、昨年も「もう二十一年になりましたよ。」などと書いて送ったよ。うな気がする。「歳を重ねること」は一日は短くなるんだよ。」と知人が言っていたが、本当にその通りである。

私のこの三年間を振り返ってみると、精神的に不安定な時期もあった。アルバイト先で、様々な影響力を持った人々と出会ったこともできた。また、ソーラーカーレースの見学に参加させていただき、二年生にして、研究室の雰囲気や失敗を、とてもできた。様々な経験や失敗をし、それなりに充実した日々を送ってきたように思っているのだが気が付くともう大学生活最後の年を迎えようとしている。今年一年、就職活動、研究室で充実させないわけにはいかないわけだが、きょうと今までの以上のスピードで時間は経つにちがいない。これまでに以上一日一日を大切に過ごして行きたいと思つ。

東芝特約店(金属・新素材)

金属材料・新素材・金属CVD装置・半導体用ガス・各種設備(設計・施工)の専門商社



# ウエキコーポレーション

《旧社名：ウエキガス科学(株)》

本社 〒146 東京都大田区久が原5丁目33番10号

TEL (03) 3753-2211 FAX (03) 3753-7117

支店：北日本・北関東・相模原 事業所：泉・姫路・北九州・大分

営業所：埼玉・横浜・大阪 出張所：浜松・名古屋

本社勤務 水口 直(S47年修士卒)

本社勤務 日向野 保雄(S52年卒)

本社勤務 奥山 俊英(S54年卒)

本社勤務 七澤 浩史(H6年卒)

